

INFORMATION

プラネタリウム

今夜の星空／宇宙への挑戦

日本がハワイ島に建造している巨大な望遠鏡「すばる」。この望遠鏡の概要と、解説が期待される宇宙の謎を紹介します。

平 日 17 30

夏休み平日 11 30 14 30 17 30

土 曜 11 30 14 30 17 30

日 祝 日 11 30 14 30

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム。最新鋭プラネタリウムによる満天の星空と心地良いサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土 曜 19 00

7月17日・31日 8月7日・14日・21日

9月4日・11日・18日

10月2日・9日・16日(いずれも土)に投映

全天周映画

トウ・ザ・リミット

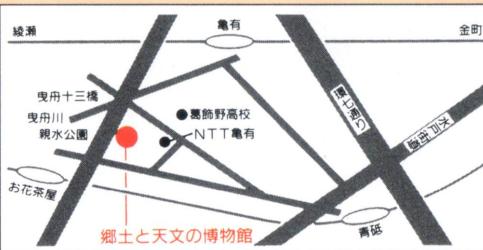
前人未到の極限に挑む。そのとき、体内では何が起るのか。人間の素晴らしさを感動的に描いた、大型映像の名作中の名作です。

平 日 16 00 19 00

夏休み平日 10 00 13 00 16 00 19 00

土 日 祝 10 00 13 00 16 00

交通のごあんない



- 京成線 [お花茶屋] から8分
- JR常磐線 [龜有] から25分
- 京成バス (新小53龜有一新小岩) [博物館前] 下車すぐ
- 駐車場に限りがございます。
電車・バスをご利用ください。



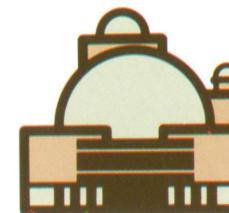
葛飾区郷土と天文の博物館
〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101



PLANETARIUM

今夜の星空／宇宙への挑戦

Vol. 9 1993・夏



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

1993年・夏の星空より

いて座で再会する二惑星。



■半人半馬のケイローン

南の地平線へ流れ落ちる夏の天の川。その東岸にいて座がある。星の並びだけで射手の姿を想像するのはむずかしいが、6つの星が描くひしゃくの形、南斗六星はすぐに見つかるだろう。

この射手は、ギリシア神話に登場する半人半馬のケンタウレス族のひとり、ケイローン。彼は学問や芸術にすぐれ、ヘルクレス、アスクレピオス、カストレなど、神話の中で活躍する数々の英雄を育てた。しかし、後にヘルクレスが過って射た毒矢を受けて、悲劇的な最期をとげたという。

いて座付近の天の川は特に明るく、太い。この向こう側には、私たちの銀河系の中心が隠れている。

■天王星と海王星が接近中

今年、いて座の中で天王星と海王星が接近している。上の写真はその様子をシミュレーションしたものだが、実際には天王星は6等級、海王星は8等級で、肉眼では見られない。

この二惑星が出会うのは172年ぶり。しかし、海王星は発見されてからまだ147年しかたっていないので、人類がこの会合を目撃するのはこれが初めてということになる。

「すばる」の見る宇宙

今、ハワイ島 マウナケア山頂に、日本の天文台が建設されています。そこには、口径8mという巨大な天体望遠鏡『すばる』が設置されます。

『すばる』には、8mもある反射鏡のゆがみを自動的に補正するアクチュエータ、高い精度で望遠鏡を天体に向ける追尾装置、大気のゆらぎまで補正するシステム、一度に100以上の天体を同時に観測する装置など、最新の技術がいたるところに導入されています。その性能は、宇宙の果てまで見ることができるとも言われています。

私たちは、この望遠鏡で何を探ろうとしているのでしょうか。

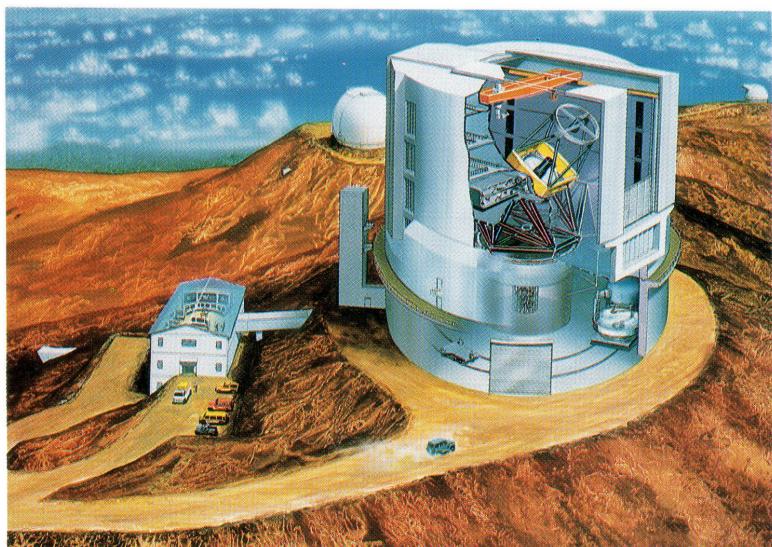
現在有力な**ビッグバン宇宙論**では、今から約150億年前に起こった大爆発、**ビッグバン**により宇宙が誕生し、膨張を続けていると言われています。しかし、それを支える観測的な証拠は数えるほどしかありません。ビッグバン宇宙論を検証するには、今までの望遠鏡では観測が難しかった宇宙の彼方の天体を詳しく観測することが必要です。

また、宇宙には、**ダークマター**と呼ばれる、私たちには見えない未知の物質が大量にあるのではないかと考えられています。ダークマターの量、そしてその正体も『すばる』の観測によって明らかにされるかも知れません。

『すばる』は、**赤外線**で宇宙を見ることができます。宇宙空間に漂うガス雲の中での**恒星**や**惑星系の誕生**の様子もとらることができるでしょう。

さらに、宇宙の彼方に輝く謎の天体**クエーサー**、銀河の誕生の過程、**ブラックホール**などの解明にも挑みます。

『すばる』の完成予定は1999年度。21世紀には『すばる』によって宇宙の本当の姿が解き明かされるかも知れません。



提供 国立天文台